

事業概要：若者が活躍するしごと創出と地元定着促進事業

旧制度（推進）

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	507,294千円 (63,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション（しごと創生）
目的・効果	中小企業等への伴走型相談支援を実施することで、企業の魅力向上を図り、若者にとって魅力ある仕事づくりの促進に繋げていくとともに、DX人材の活用により企業のデジタル化を促進しながら、大学生に対する就職先としての企業の認知の向上を目指す。大学生がデジタル技術を習得したり、技術を実践する場を企業が提供するなどして、大学生と企業との関わりを広げていく。実証事業に基づき、大学周辺等へのサテライトオフィス誘致に繋げていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○若者の市内企業への就職促進 ○学生の起業を支援する。 ○本市に立地ニーズのある企業の誘致促進を行う。 【R8年度事業 経費内訳】 ○若者の市内企業への就職促進（補助金）21,180千円 多様な人材と企業との接点づくり、企業PRや市内企業の認知度向上を図る。 ○大学発ベンチャー支援（委託料）32,700千円 東広島イノベーションラボミライノ+による創業起業支援等 ○サテライトオフィス誘致（補助金）10,000千円 新たに市内に事業所を開設する法人に対し、開設に係るイニシャルコストとランニングコストを500万円／年（最大3年間）で補助する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①市内大学の地元企業就職率（+3.38%） ②Hi-Bizにおける相談者のうち売上向上事業者の割合（+38.0%） ③サテライトオフィス誘致件数（+10件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25124.html

事業概要：世界に貢献するイノベーション創造を支える高度人財循環都市形成プロジェクト

新規

申請者	広島県東広島市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	214,668千円 (51,756千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「働く」領域の人財投資により、地域産業の付加価値向上・労働生産性向上を通じて魅力ある雇用と稼ぐ力を高め、域外からの人財流入と定着を促し、生産年齢人口（15～64歳）の維持・増加（KPI①）につなげる。 ・Town&Gown構想やCOMMONプロジェクト等により産学官連携の基盤を強化し、企業・行政・大学が連携して課題解決と新たな価値創出を継続的に生み出す仕組みを構築する。 ・起業支援（ミライノ+）や女性の学び直し・コミュニティ形成、企業の人財育成・外部人財活用支援等を連動させ、人財の育成から挑戦、事業化、就労・定着までを一体的に促進し、国内外から「働きたい」「事業をしたい」と選ばれる都市の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、Town&Gown構想を軸とした大学連携体制の強化と、COMMONプロジェクト等による課題抽出・研究マッチングを推進し、産学官連携による共創案件の形成を加速する。あわせて、東広島イノベーションラボ ミライノ+を核に、起業・副業等を目指す人財への集合研修・個別支援・伴走支援を実施するとともに、市内企業の人財育成支援やプロフェッショナル人財の副業・兼業活用支援、商工会議所等と連携した専門相談窓口の設置により、企業の生産性向上と経営基盤強化を図る。これらの取組を相互に連携させ、挑戦が一過性に終わらず、事業や雇用として地域に定着する好循環を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・Town&Gown Office運営／COMMONプロジェクト等による大学連携推進（負担金）28,210千円 ・市内企業の人材育成（研修等）・外部人材活用の促進（補助金等／委託費）13,046千円 ・小規模事業者向け専門相談窓口の設置（補助金）5,000千円 ・女性のビジネススキル向上支援（委託料）5,500千円					本プロジェクトは、経済財政運営と改革の基本方針2025（「人中心の国づくり」）に整合し、地域ニーズを踏まえて外部有識者会議の意見を反映し、令和8年度から新たに実施する基盤事業	
主なKPI	①生産年齢人口（推計）（+1,050人程度） ②COMMONプロジェクト（共同研究型）の実施件数（+12件） ③4大学との連携事業数（+9件） ④創業支援事業による創業者数（+12人） ⑤商工会議所・商工会の会員企業数（+45社）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25124.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	広島県東広島市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	164,938千円 (59,646千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農地・担い手・技術・販路の「分断構造」を一体運用でつなぎ直し、地域の供給力確保と所得形成を高め、農業産出額（KPI①）の向上につなげる。 ・受け皿（営農体制）強化と農地集積、農福連携等により、担い手減少下でも営農継続できる基盤を再構築する。 ・スマート農業の面的波及と園芸振興・販路強化を一体で進め、付加価値向上と「稼ぐ農業」への転換を加速する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市は、県内有数の耕地面積を背景に、農業を「十分な所得形成力を有する産業」として確立するため、事業群を「基盤（受け皿）×省力化×所得形成」で束ね、①受け皿（農地利用・営農体制・担い手）強化、②省力化・スマート化の面的実装、③園芸振興・販路強化を一体的に推進する。具体的な交付金対象事業として、集落法人・認定農業者等へのスマート農業導入、グループ営農の共同利用、農福連携の施設整備、担い手への農地集積の各支援を実施する。あわせて、園芸情報の集約・発信や技術・販路情報の提供など、情報拠点機能を強化する。さらに、農業企業の誘致や技術導入セミナー等により生産現場の省力化を後押しするとともに、意欲ある農業者の創意工夫による取組（収益性・生産性向上、販路開拓等）を支援し、その成果の地域全体への横展開を図る。					東広島市 地域未来推進型（農業） 目指す姿とアプローチ 供給力を支え、稼ぐ力が高い農業へ 農地・担い手・技術・販路をつなぎ、成果が蓄積・波及する地域構造 ① 受け皿強化（基盤）  農地集積等 多様な担い手の参画 体制づくり - 農地利用の最適化・集落営農体制 - 担い手の確保・定着（農福連携等） ② 省力化・スマート化（生産性）  ドローン 生産性向上 共同利用 - スマート技術で省力化・低コスト化 - 地域へ“面”で波及（共同利用・ノウハウ共有） ③ 園芸・販路×所得形成（付加価値）  販路確保 ブランド化 稼げる農業へ - 園芸振興（栽培実証→情報発信→普及） - 販路・付加価値化で所得向上 基盤強化 → 生産性向上 → 所得形成 → 供給力確保・営農継続 事業群を一体運用し、成果の横展開を促進	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・集落農業支援事業（補助等）34,750千円 ・次世代農業推進事業（補助/委託等）14,264千円 ・豊かな農業づくり事業（補助）8,000千円 ・園芸振興事業（消耗品等）3,897千円						
主なKPI	①地域における農業産出額（+ 累計増加分 30.00 千万円） ②認定新規就農者の認定数（+ 累計増加分 9.00 人） ③スマート農業に取り組んでいる集落法人の割合（+ 累計増加分 9.00 %） ④野菜・果樹・花きの直売所等販売額（+ 累計増加分 38,000.00 千円） ⑤グループ営農団体新規設立数（+ 累計増加分 6.00 件）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseusei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseusei/25124.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：生活価値創出拠点「福富みらいベース」の整備活用

旧制度（拠点）

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	553,552千円 (387,943千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 里山資源の新たな活用、デジタル機器を活用したものづくりの推進、デジタルの学びの場の提供や、ものづくりの文化を次世代に伝えていくためにデジタル教育と自然資源を組み合わせる取り組みを行うなど、豊かな自然と現代のテクノロジーとの融合を図る生活価値創出拠点として、地域の廃校を改修整備・再活用する。 「生活デザイン・工学研究所」により、拠点に集う人や企業の様々な活動を通じて、地域内外の交流促進・魅力発信等を図り、交流・関係・移住人口の増加につなげ、持続可能な地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コミュニティスペースやテナントオフィス・コワーキングスペース、学び等の機能を持たせた拠点「福富みらいベース」として廃校を改修整備し、地域内外の人が気軽に集える場とする。学びスペース（デジタル・エネルギー・ものづくり）には、デジタルファブリケーション機器等を設置し、里山ならではのデジタル教育を受けられる、新たなものづくりができる環境を整えるとともに、エネルギーの多様性についてのパネル・藻類の実物展示等を行うことで、利用者増加や魅力向上を図る。 オンライン予約システムやスマートロックシステムを整備することで、利便性の向上につなげる。また、本施設の利用者等の移動を支えるため、地域の実情に合ったモビリティサービスを検討する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 施設改修（旧竹仁小学校の改修工事）200,997千円 ・設備工事（電気・空調等）134,970千円 ・効果促進事業（ハード事業）WiFi関連工事 19,312千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①福富地域の人口（+0人） ②福富みらいベース利用者数（+12,000人） ③デジタル教育プログラム参加者数（+1,500人） ④テナントオフィス稼働率（+100%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25145.html https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25124.html

事業概要：MOD（Mobility Oriented Development（新モビリティ指向型都市開発）に向けた自動運転・隊列走行BRT社会実装推進事業

継続

申請者	広島県東広島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	313,508千円 (111,290千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自家用車から公共交通への転換を促進するため、都市の基軸交通としてのBRTの導入やMaaS、交通需要マネジメントなどを組み合わせ、地域における将来の姿に向けた合意形成と社会受容性を高める。これにより、誰もが自由に移動・交流できる「新モビリティ志向型都市」へ再構築し、地域活力の向上、持続可能なまちづくりと地域の将来像を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 BRT・自動運転・隊列走行の実装に向けて、関係機関で構成する分科会・ワーキングを運営し、合意形成を図る。 併せて、広島大学と連携し、施策評価や交通需要マネジメントの推進し、新モビリティ指向型都市に向けた社会受容性の向上を図るとともに、MaaSの展開により、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。					 自動運転・隊列走行BRTのイメージ（令和7年時点）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①バス高速輸送システム（BRT）と自動運転・隊列走行技術の導入検討（委託料）52,000千円 ②新モビリティ指向型都市に向けた市民理解や社会受容性の向上・拡大を図る取組（委託料）25,970千円 ③新モビリティ指向型都市実現に向けた①②を包摂するMaaSの推進（委託料）33,320千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①バス利用者数（+22,056人/6カ月） ②JR西条駅定期券乗降数（+266人/日） ③デジタル企画乗車券でのバス乗降割合（+20%） ④BRTの導入希望度（+19.6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25124.html

自動運転・隊列走行BRTのイメージ（令和7年時点）

事業概要【AIによるごみ分別LINEボット導入事業】

自治体名	広島県東広島市	人口	191,367人	事業費	1,052千円
事業概要	ごみの分別に関する市民からの問い合わせへの対応は市役所の開庁時間内だけであり、またそれも口頭や文章でのやり取りでは詳細が伝わりにくい点が課題である。そこでLINEを活用したごみ分別ボットを導入することで、AIがスマホの画像やキーワードから分別方法を時間に関係なく瞬時に提示するため、利便性向上と負担軽減が図れる。また、市内には4つの大学があり外国人が多く居住しているが、8ヵ国語対応で外国人にも便利である。				
具体サービス	【LINEアプリを活用したごみ分別LINEボット】 ・A I が画像から対象物を自動判別し、分別を案内 ・キーワードを入力することにより、分別を案内 ・8ヵ国語へ翻訳（英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・ネパール語・タガログ語・インドネシア語・アラビア語） ・収集エリア別に、収集日程を表示	東広島市AIごみナビ ごみ分別検索の利便性向上のため、開庁時間外でも何度でも誰にも遠慮なく問い合わせができ、AIにより瞬時に判別（画像・キーワード）し回答案を提示できる、LINEアプリを活用したごみ分別LINEボット『東広島市AIごみナビ』を導入。  			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ごみ分別にかかるLINE友だち登録者数	【アウトカム指標（成果指標）】 分別案内後の評価数に対するポジティブ評価数の割合			

事業概要（避難所環境改善事業）

自治体名	広島県東広島市	人口	191,367人	事業費	4,823千円
事業概要	避難所の環境改善を目的に、スターリンク（衛星通信機器）、屋根付きパーテーション、簡易ベッドを購入する。スターリンクを配備することで、避難所でのインターネット環境を確保し、必要な支援（避難所の状況、活動班員との関係）が可能となる。災害に備え、平時には地域で行う出前講座や防災訓練等を使用する。 また、屋根付きパーテーションと簡易ベッドは避難所に配備し、環境の改善に努めるとともに、平時は、避難所開設・運営訓練などで活用し、地域防災力の向上に努める。				
購入する資機材等の内容	○スターリンク 3基 1,478千円 ○屋根付きパーテーション 73基 787千円 ○簡易ベッド 93台 2,558千円		  スターリンク 地域での避難所開設・運営訓練		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①屋根付きパーテーションの備蓄数 ②簡易ベッドの備蓄数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①屋根付きパーテーション・簡易ベッドの地域訓練等での利用状況		